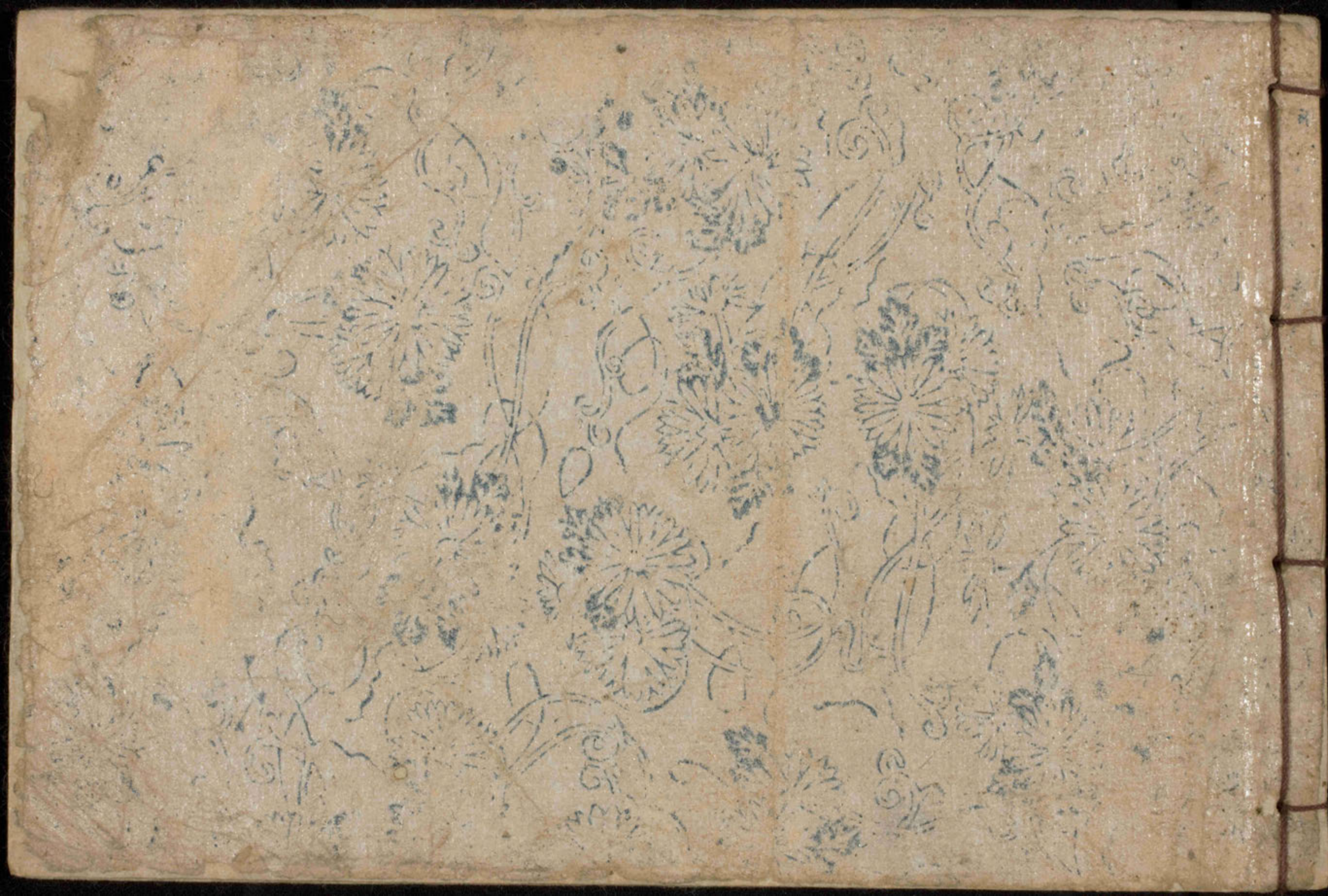
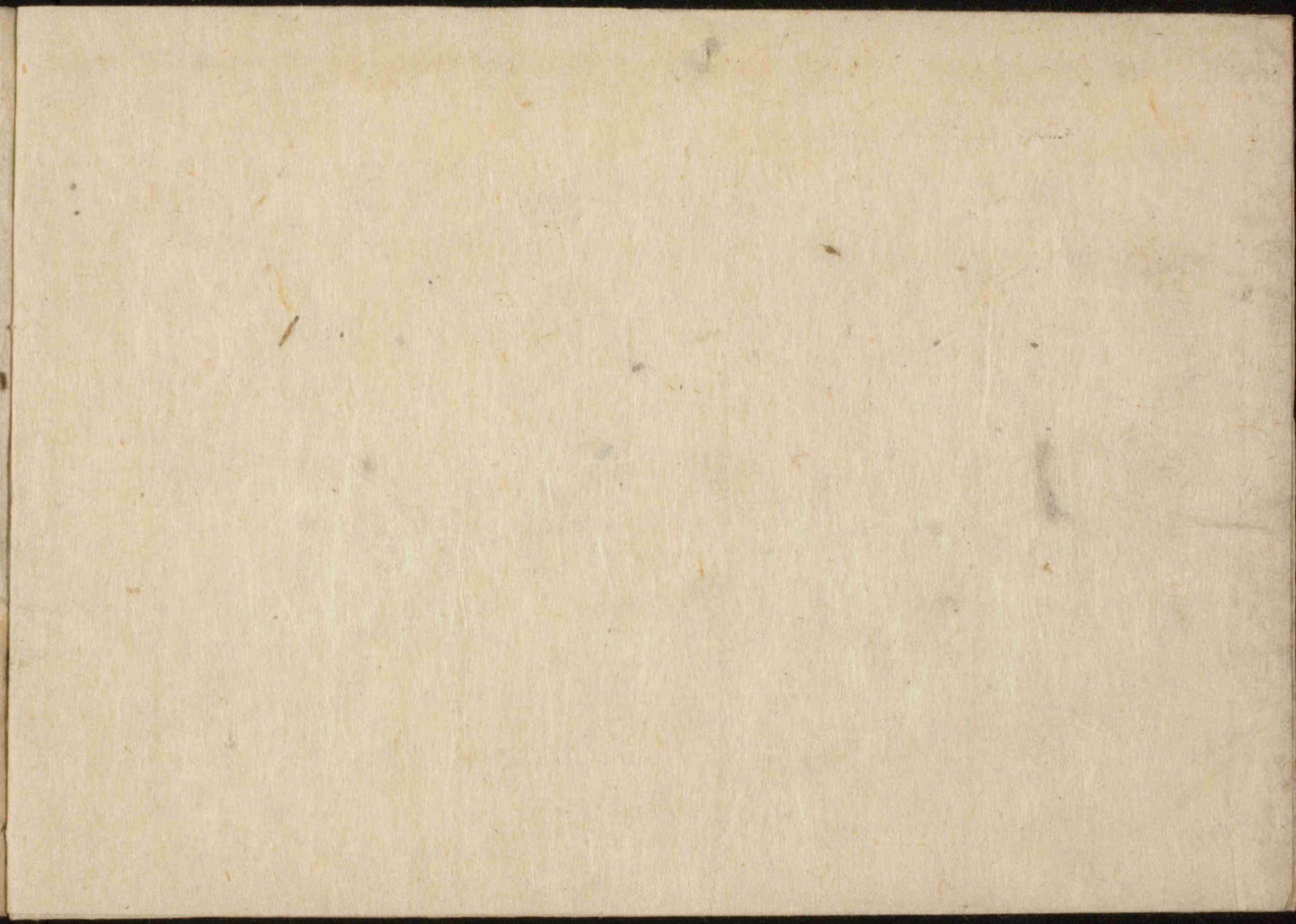






序

新王代おち多留りし時此春
あけ—昔端乃大廓川渡
多敷注連飾袖物束衣
无意采采尔酒也—居續
以花乃一寸の粧ひを古交
素皇乃物粧束に衣袂太史
酒麓云々此乃大書卷の巻
今尔後世も全盛の夢
各門の事亦興ふ尔を
相与りて北如尔所
に黄金の夢乃乱日
音樓は遠樹たる旅ひ
おち—昔の北如—栄久
妹春山盛と安尔—芳聖乃

後やう

婆子
似やう

春章画



そやう
ま

蕉翁

中^{ちゅう}の^の氏^し濃^{のう}く^く川^{かわ}井^いは^はる^るぬ^ぬ名^な
寄^よと^と改^{かい}記^きし^し輩^{はい}乃^{のう}者^{しや}と^と
遊^{ゆう}業^{ぎやう}に^に峯^{ほう}乃^{のう}と^と衆^{しゆ}の^の衆^{しゆ}
の^の個^こ衆^{しゆ}代^{だい}に^に人^{にん}と^とぬ^ぬか
氏^し名^な壽^{じゆ}成^{じやう}也^やと^と預^よす^す而^の已^い

安永二歲癸巳のぬ春

金花縣

文紙戲識之

山崎



夜夜坂

入

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎



山崎

山崎

山崎

山崎

三

中此町業金右記この形



三巴金半助



いりや孫三郎



わさき松三郎



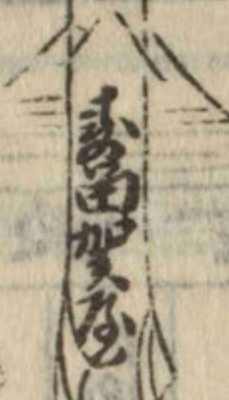
ますや七郎



あひや七郎



あやた三郎



すけや市三郎

いふい戸所入口

あさりや

あさりや松三郎

中

中

中

中

中

中

河

河



河

車 尾

車

玉

玉



玉

永

永



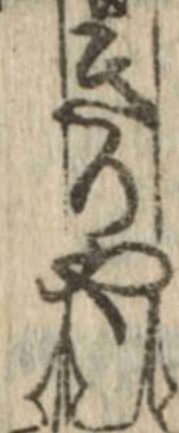
中松堂書



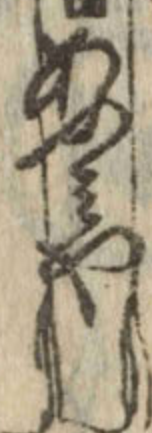
子松堂書



おろや久松



久松堂書



や松堂書



伊勢松堂書



美松堂書



若松堂書

和字

何々々

何々々々々

何々々

何々々々々

いふあぢや所入口

俵

俵屋彦兵衛

山本屋

山本忠三郎



若尾利七

長

長濱屋長三郎

ちんちん

ちんちんちんちん

中屋

中屋中屋

りんりん

りんりんりんりん

せんせん

せんせんせんせん

うんうん

うんうんうんうん

わんわん

わんわんわんわん



ちんちんちんちん

てんてん

てんてんてんてん

丁天聖



世に也



松屋新八

計和系所多千因入口
是ふ中の町たりくまのた



丁子屋清太郎

此の金十郎

計和系所多千因入口



桐屋作助

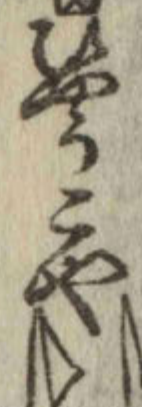
小田多屋又三郎

口門大場橋



山崎久三郎

山崎久三郎



山崎久三郎

山崎久三郎



山崎久三郎



山崎久三郎



山崎久三郎



山崎久三郎



山崎久三郎

ふとや

ふとや市三郎

松本屋

松本屋清吉



信月や吉三郎



文とや吉三郎

長久保

松本屋右近所

長久保

長久保小次郎



松本屋仁吉郎



三つとや吉三郎

近江屋

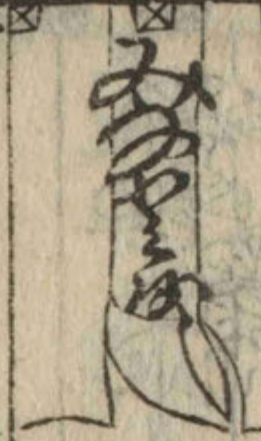
近江屋八三郎



山屋守元



山屋守元



山屋守元



山屋守元



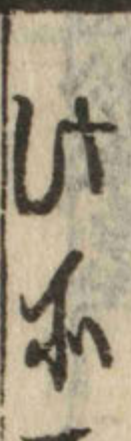
山屋守元



山屋守元



山屋守元



山屋守元



山屋守元

松

松坂屋八

山

山崎屋八

い

いづる八

松

松坂屋八

松

松坂屋八

松

松坂屋八

松

松坂屋八

イラズリカ不舎

ちぢぢ

ちぢぢぢぢぢ



ぢぢぢぢ八

ぢぢぢ

ぢぢぢぢぢぢ

ぢぢぢ

ぢぢぢぢぢぢ



ぢぢぢぢぢ

ぢぢぢ

ぢぢぢぢぢぢ

ぢぢぢ

是の中の間うゝのぢ
ぢぢぢぢぢぢ

ぢぢぢ

ぢぢぢぢぢぢ

あつや

さきつゝ下

うや

うやうや

まや

まやまや

鳥屋

はるやう

あつや

あつやあつや



あつやあつや



あつやあつや



あつやあつや



あつやあつや

新刊唐六事の部

山宿

山宿

山宿

山宿

山宿

山宿

山宿

山宿

山宿

山宿

山宿

山宿

山宿

山宿

山宿

山宿

山宿

山宿

山宿

山宿

山宿

山宿

不 利 元 丁 子 三

吉

吉 富 吉

吉

吉 富 吉

吉 富 吉

吉

吉 富 吉

吉

吉 富 吉

吉

吉 富 吉

加

吉 富 吉

吉

吉 富 吉

丁名

丁天聖

わげぬ剛たるとしきやの歌



あふやあひ序

あふやあひ序

あふやあひ序

あふやあひ序

あふやあひ序

あふやあひ序

あふやあひ序

あふやあひ序

あふやあひ序



中の所
大坂を越えぬ

江安所著丁國仲所刻

松葉堂

松葉庵半松

三ノ子

三三三

松

三
二

山
之
子
子
子

うすずも

そめぐる

うたふ

今深

うさぎの
うさぎ

今
奇
ふ
ふ

うみくさ
うみぐさ
うみぐさ

今
ま
う
の

くろくしん

へ
あ
あ
あ

おのまじ

へへ
ま
ま
ま

まのめろ

へ
し
その介
あをさ

くもる

へへ
うう
うう
のぬ

うゑゑ

へ
まろの
まろの

卷之四

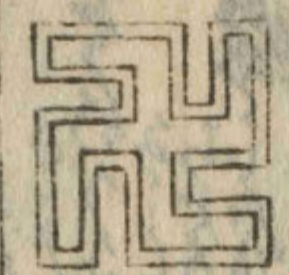
夢

二

カマ



〽 ぢやうぢやうぢやう
 〽 このさうぞ
 〽 あのか
 〽 いたす
 〽 玉さく
 〽 かしさく
 〽 是れ
 〽 うさく
 〽 中う
 〽 うさく
 〽 うさく
 〽 うさく

[illegible]

●竹居さの

花あはれ
 うさぎあはれ
 おもひあはれ
 こころあはれ
 めいあはれ
 うさぎあはれ
 おもひあはれ
 こころあはれ
 めいあはれ
 うさぎあはれ
 おもひあはれ
 こころあはれ
 めいあはれ

萬字成字記

張

[illegible]

七



へ
 波 ゑ
 ぬ ゑ



へ
 ゑ
 ぬ ゑ

天世金壽貞

うのそ

へ
 ゑ
 ぬ ゑ

大つゝあはれちる

うそ

へ
 ゑ
 ぬ ゑ

へ
 ゑ
 ぬ ゑ

へ
 ゑ
 ぬ ゑ

うそ

ひさめ

おののけ

おののけ

おののけ

おののけ

おののけ

いさめ

いさめ

いさめ

いさめ

いさめ

いさめ

武藏屋おちめ

おののけ

おののけ

おののけ

おののけ

おののけ

いさめ源お

おののけ

おののけ

おののけ

おののけ

おののけ

おののけ

七

2

五



松本村田
いづれの
いづれの
いづれの
いづれの
いづれの
いづれの

大九卷長七尺

ふんさん
まきうの
そあ代
おろざい
しんさく
しんり
しんり
しんり
しんり
しんり
しんり
しんり
しんり
しんり

子



今わをるやぎ
 今ちのふと
 へをさうのい
 へまろくざ
 へいのふた
 へうとをい
 へつまう
 へてあそぶ
 いはいこむ

ちんちん　　と　　と　　と　　と　　と　　と
 ちんちん　　と　　と　　と　　と　　と　　と
 ちんちん　　と　　と　　と　　と　　と　　と
 ちんちん　　と　　と　　と　　と　　と　　と

いしやうちん



いしとくさしきふりうさ
さしきふりうさ
さしきふりうさ
さしきふりうさ
さしきふりうさ
さしきふりうさ
さしきふりうさ
さしきふりうさ

うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ

うさうさうさうさ

うさ

うさうさうさうさ



うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ

うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ

うさうさうさうさ

うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ
うさうさうさうさ

うさ



一の介と清助

す川やま

あさき

おろの

おろの

おろの

おろの

きく

す川

おろ

おろ

おろ

おろ

おろ

ち

若木屋

つるやと八

おろ

おろ

おろ

おろ

おろ

おろ

おろ

やま

おろ

おろ

おろ

おろ

おろ

ち

河内屋

[illegible]

河内縣志

[illegible]

卷之七

122

式部

へ　へ　へ　へ
そ　何　あ　え
そ　何　あ　か
そ　何　あ　れ
さ　き　う　ぎ
さ　き　う　せ
く　し　が　の
ゆ　み　お
ゆ　と　ふ
ゆ　何　こ
あ　何　め
あ　の　へ

● 五五八

Handwritten text in a cursive script, likely a signature or name, oriented vertically.

張

五

己

三

٥

カ

五

27

5

[illegible]

● 步川和文彦

[illegible]

はこ
さくら
あけ
あけ

五



方廣店主張

[illegible][illegible]

今



山
石
与
云
松

へかのきん
へやまじら

志のう
うふふ
いさほ
おのまき

[illegible]

やまのえ

頤

花菱屋

花開不盡時

[illegible]

(Handwritten Japanese calligraphy)

すそのかへ
ちのまへ
ちのまへ
ちのまへ
ちのまへ
ちのまへ
ちのまへ
ちのまへ
ちのまへ
ちのまへ

茲

角町中ノ所ナチガ



劉應玄方師

とうのうぐい
 とくちのうぐ
 たりゅうの
 かねのうぐ
 とうのうぐ
 とうのうぐ
 とうのうぐ
 とうのうぐ
 とうのうぐ
 とうのうぐ

[illegible]

發

五

全



ねうで
ふの年
あさき
女くも
印で
あはれ
いよこと
すりうし
あめの井
ともぎく
とのあめ

いふことばを
かきしるは
かきしるは
かきしるは
かきしるは
かきしるは
かきしるは
かきしるは

● 印々々々

終

大魚屋

とうむめ
 ありやう
 みらい
 まい校
 いまう
 志ひやう
 うむやう
 そのむめ
 志ひやう
 まう

張

[illegible]

ワの事
老けり
さうのく
ちつせん
たふさる
まれきん

① 大あゝをまゝ

① 望子之必平之也

そのむめ
いんむめ
すすぐの
るるのよ
いんめめ
いんめめ
むめめめ
さようめ
えんめめ

發

孝



●大元如家

たのめ
あふやう
牛月一
深き
清く
冬う
去る
みま
やま
な

ちのむあ
みちのく
いさうき
こぞのし
きざさく
おんさく
さよさき
あめふ
のさん
はなごと
たのびし
うまのみ
うらぐん

此
書

曉

大あびる如く

へ へ へ へ へ へ へ へ
 へ の の の の の の の
 へ の の の の の の の

へへ
はのまら
はのまら
はのまら
はのまら
はのまら
はのまら
はのまら
はのまら
はのまら
はのまら

中民

三

明州府志

牛の尾
牛の角
牛の毛

[illegible]

角田所よりたより



● 三つや清み

へく
まの
は
まの
まの
まの

あゝさう
そめさう
そめさう
まのそ
まのそ
まのそ
まのそ
まのそ

ふの井
とすち
るを

母
天

[illegible]

中

廟必辰以所

七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十

茲

芳

吳州府志

このう
さう
小あさか

之の
 之の
 之の
 之の

此等
むろ
ま

中

精

ちぬしを
さふさ
さふのり
さふのり
さふのり
さふのり
さふのり
さふのり
さふのり
さふのり

たろや

[illegible]

○ 明 弘治 壬午 年

たゞ

そめさうめ
やうのねに
あめめら
ほめりぞ
もろき
くらづの
あざづ
けづ
せ、う
ちあきく
そのうら
あめ、えん
うめく

茲

● 懷中書

[illegible]

廿二

新刊二回半田かたがは

山城屋

山崎や九多郎

ハガリハ

▲ ああ くらゐの
 ▲ らや くらゐの
 ▲ うー くらゐの
 ▲ やー くらゐの
 ▲ まー くらゐの
 ▲ あー くらゐの
 ▲ らや くらゐの
 ▲ うー くらゐの
 ▲ やー くらゐの
 ▲ まー くらゐの
 ▲ あー くらゐの
 ▲ らや くらゐの
 ▲ うー くらゐの
 ▲ やー くらゐの
 ▲ まー くらゐの
 ▲ あー くらゐの

うー くらゐの
 らや くらゐの
 うー くらゐの
 やー くらゐの
 まー くらゐの
 あー くらゐの
 らや くらゐの
 うー くらゐの
 やー くらゐの
 まー くらゐの
 あー くらゐの
 らや くらゐの
 うー くらゐの
 やー くらゐの
 まー くらゐの
 あー くらゐの

うー くらゐの
 らや くらゐの
 うー くらゐの
 やー くらゐの
 まー くらゐの
 あー くらゐの
 らや くらゐの
 うー くらゐの
 やー くらゐの
 まー くらゐの
 あー くらゐの
 らや くらゐの
 うー くらゐの
 やー くらゐの
 まー くらゐの
 あー くらゐの

丸

まーや九多郎

うー

長

○長海屋平心

ツ 月 久 遠 之 功 効 甚 大 矣 凡 諸 病 之 治 無 不 效 驗 也 此 藥 之 功 効 甚 大 矣 凡 諸 病 之 治 無 不 效 驗 也

ハ 何 等 之 功 効 甚 大 矣 凡 諸 病 之 治 無 不 效 驗 也 此 藥 之 功 効 甚 大 矣 凡 諸 病 之 治 無 不 效 驗 也

ハ 何 等 之 功 効 甚 大 矣 凡 諸 病 之 治 無 不 效 驗 也 此 藥 之 功 効 甚 大 矣 凡 諸 病 之 治 無 不 效 驗 也

ハ 何 等 之 功 効 甚 大 矣 凡 諸 病 之 治 無 不 效 驗 也 此 藥 之 功 効 甚 大 矣 凡 諸 病 之 治 無 不 效 驗 也

朝日如來安置

丸

○海屋平安丸

ハ 何 等 之 功 効 甚 大 矣 凡 諸 病 之 治 無 不 效 驗 也 此 藥 之 功 効 甚 大 矣 凡 諸 病 之 治 無 不 效 驗 也

ハ 何 等 之 功 効 甚 大 矣 凡 諸 病 之 治 無 不 效 驗 也 此 藥 之 功 効 甚 大 矣 凡 諸 病 之 治 無 不 效 驗 也

ハ 何 等 之 功 効 甚 大 矣 凡 諸 病 之 治 無 不 效 驗 也 此 藥 之 功 効 甚 大 矣 凡 諸 病 之 治 無 不 效 驗 也

ハ 何 等 之 功 効 甚 大 矣 凡 諸 病 之 治 無 不 效 驗 也 此 藥 之 功 効 甚 大 矣 凡 諸 病 之 治 無 不 效 驗 也

ハ 何 等 之 功 効 甚 大 矣 凡 諸 病 之 治 無 不 效 驗 也 此 藥 之 功 効 甚 大 矣 凡 諸 病 之 治 無 不 效 驗 也

家

ちろろの
いりそど
あんさん
うーと
さうの
いりそど
いりそど

○ 人因起死回生

ふふふふふ

王

江戸所々の於換大寸

先づや男三郎

さうさうの

もろのく

寶壽



廟堂劫灰帝

大さう
二のう
あなま
たあな

二のあや

卷之六

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

松屋

へ
あ
の
う
の

松屋

へ
あ
の
う
の

松屋

へ
あ
の
う
の

三津井

へ
あ
の
う
の

松屋

へ
あ
の
う
の

三津井

へ
あ
の
う
の

松屋

へ
あ
の
う
の

松屋

へ
あ
の
う
の

三津井

へ
あ
の
う
の

松屋

へ
あ
の
う
の



へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい

梅鉢屋

へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい



へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい



へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい

田村屋

へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい

さきさきさき

さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき

梅ざらやう

へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい

へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい

さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき

へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい

さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき

へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい

さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき

田村屋

へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい
へい

さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき
さき

市野屋

へうしゆあ
 へうしゆあ
 へうしゆあ
 へうしゆあ
 へうしゆあ

市井之風

へ
うらふの
うらふの
うらふの
うらふの
うらふの

中

寶

[illegible]

安陸君十師

あやめ

孝

吳本屋

ゆきふりぬ
もろくちうり
まろくちうり
まろくちうり
まろくちうり

夢野玄人

くさくさ

中興

京

へむく
へむく
へむく
へむく
へむく

二のんど

まうのう

卷之六

儀

卷之六

これより断つての教

竹堂屋

竹葉

のうたふく

[illegible]

卷之五

錦

所發之書

津國屋

此の巻やとある



マカ

三カ

二カ

三カ

七カ

三カ

三カ

三カ

三カ

三カ

大

三カ

山

三カ

三カ

三カ

三カ

三カ

三カ

三カ

三カ

三カ

三カ

三カ

三カ

三カ

三カ

三カ

近屋

わが心深

[illegible]

そめぎぬ
すうぐえん
くうむい
たのうい
すうぐえん
とくやう

读

くわんしやうしんせふ

閨塾屋

品如中邪八

へふのえん
へふのえん
へふのえん
へふのえん
へふのえん

[illegible]

中

公

八
と
と

やとつゝあ
やとつゝあ
やとつゝあ

中

漆

1870

ろのえ
ちよづ
まよづ
んの

るにやう
しとよろ
すのやう
そくのえ

かりき

内屋

月夜記

あつちのうら
うらなうら
うらなうら
うらなうら

ちやうど
 まるやま
 くだあも
 ささくも
 ちやうど

[illegible]

三

山也々々々々



いづるやあふるを

大坂屋

大德寺

夢

あらしのふりもあつ



大之也

三

いやはあまのこ

とよみす
すうのめ
ちうめや
とよみす

三才圖會

物直段其外合印

大夫
九拾日
往來
八平

格子
六拾目
於處
於人
平

入部金三

同三拾日付廻之

同三拾目
十五久あり

同拾五斤行多必煎朱●下

吉原天城

我々乃び汝
これの
りくくはる

是ぞんごの
 穴中の月
 車流るゝ
 中の下迄や
 松原忠乃
 山口屋半兵衛

豆腐

豆腐希有也

以之入我
五
增同唐
五

安寧湯 中の一

出流病の
 入本義

吉原けしやの夜

三十四

十寸見しうんくう

日 東 旅

日 東 閑

さくらんちうり

夢作 志健あま

日 若尾あま

七

竹下 廣あま

世良 あま 吉

留良 廣あま

そらんちうり

日 ちうり

日 ちうり

敬 法とく

ちうり 廣あま

中うわあま

く敬 あま

ちうりあま

日 忠 あま

あまんちうり

さくらんちうり

あま 聖あま

ちうりあま

日 大 軒

ちうりあま

ちうりあま

留士田 仁ちうり

ちうりあま

ちうりあま

凡持者必

以心之

心之

心之

心之

心之

心之

心之

心之

心之

心之

心之

心之

心之

心之

心之

心之

心之

心之

心之

心之

心之

心之

心之

心之

世居役所事

都八重太夫

所平右方太

野以次卜吉

出以文吉

さしつゝぬやうんそふ
大さるやぬいそふ
あうやぬきふ
大つうや七そふ
うのや倅そふ
のうさや倅そふ
さいくいのやぬきふ
太しゆや結ぶそふ
かどわすそふ
うーろく生そふ
やるあふやなほそふ
まうそふやちそふ
市川や文あふ
ふめと海あふ
長一母や七あふ
舟や小あふ
大はくや節あふ
けりや少あふ
けりや結あふ
さぐらや八あふ
さくのやえ七
さやいろそふ
みうや中あふ
まんりや人あふ
りんや年あふ

[illegible]

年々月次めん

正月

。松のうしろとらとあひすう。〇十一日
市日十八日十九日二十日二十一日

二月

。くろ年
十八日十九日二十日二十一日

三月

。初日三日十五日十七日十八日十九日

四月

。初日八日十五日十七日十八日十九日

五月

。初日六日十五日十七日十八日十九日

六月

。初日十九日二十日二十一日

七月

。初日七日十日十三日ハ休日あり
十四日十五日十六日十七日十八日

八月

。初日十一日十五日十七日十八日十九日

九月

。初日九日
十二日十三日十四日十五日
十七日十八日十九日

十月

。いのと
初日十五日十七日十八日
廿日 廿八日

十一月

。初日八日十五日十七日十八日十九日

十二月

。初日八日十五日十七日十八日十九日

大々ハ十二月廿日ハとらとあひすう

新吉原又下町番清
成之出来仕相移之
其之取掛之形もわき
有之の望進之移之
其之目見之同之
あ改之成之
相違之
合之

京鴻原細見 一目千町 全
大坂新町細見 茨保修 全

本二和とも少保修方少保修方

計細見改 新吉原本町二丁目角

町小賣 取次保 本村屋 八

安永二 癸巳 歳 板元 屋

毎月大改

110X

668

154

47

